

平成21年度一般会計歳出決算 85億4,572万円のつかいみち

9月定例村議会において、平成21年度の決算が承認されました。

本年度は、昨年度に引き続き東北電力東通原子力発電所に係る固定資産税により、歳入の大部分は村税で占められており、分担金負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入を加えた自主財源は、65億7,512万円で、比率は72.6%となっております。

しかし、東北電力東通原子力発電所に係る固定資産税の減収や普通交付税の不交付、各種補助金・交付金等の削減により、年々厳しさの増す財政状況の中で、社会資本の整備拡大、交通及び通信体制の推進、農林水産業の生産基盤強化、少子高齢化対策及び子育て支援等社会福祉の増進、教育の振興等に直結した事業を実施いたしました。

この結果、平成21年度の一般会計歳出決算額は、85億4,572万円となり、前年度と比較すると11億2,975万円(11.7%)の減となりました。

また、歳入総額から歳出総額及び翌年度に繰越すべき財源を控除した実質収支額は、1億8,399万円となり、実質収支比率は4.0%となっております。

財政の硬直度を図る指数である経常収支比率は81.5%(85.0%)ですが、黄信号である()内の比率を超過しないよう適正な財政運営が求められます。

それでは、皆さんから納めていただいた税金やその他の歳入の内訳、またどのように使われたか見てみましょう。

村税収入の内訳

・固定資産税	38億6,556万円
・村民税	2億7,178万円
・たばこ税	3,987万円
・軽自動車税	1,288万円
・鉱産税	581万円

その他の内訳

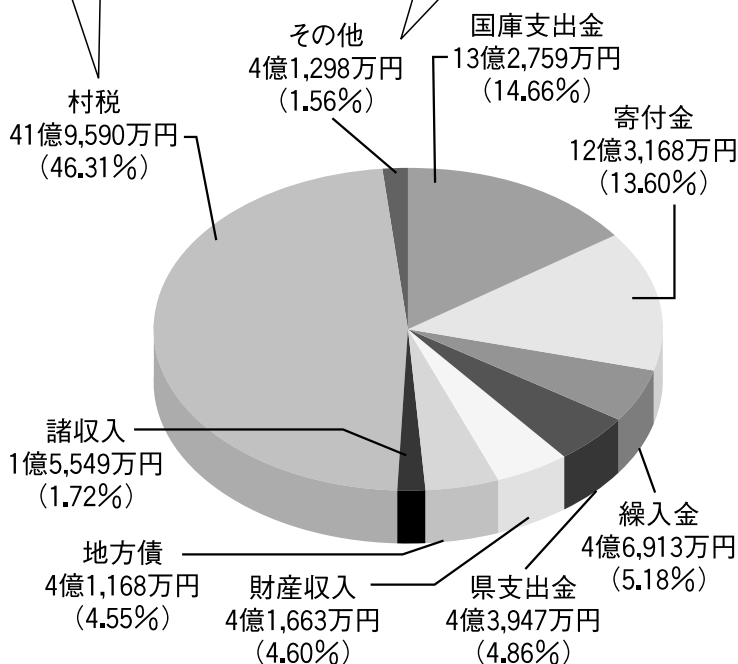
・地方譲与税	5,546万円	・地方特例交付金	1,081万円
・利子割交付金	189万円	・地方交付税	1億4,480万円
・配当割交付金	31万円	・交通安全対策特別交付金	84万円
・株式等譲渡所得割交付金	14万円	・分担金及び負担金	4,743万円
・地方消費税交付金	6,732万円	・使用料及び手数料	4,283万円
・自動車取得税交付金	1,437万円	・繰越金	1,602万円
・国有提供施設等 所在市町村助成交付金	1,075万円		

特別会計決算

◎国民健康保険特別会計	
〔歳入〕	10億2,537万円
〔歳出〕	10億1,567万円
◎老人保健特別会計	
〔歳入〕	78万円
〔歳出〕	78万円
◎後期高齢者医療特別会計	
〔歳入〕	5,015万円
〔歳出〕	4,993万円
◎介護保険特別会計	
〔歳入〕	5億9,742万円
〔歳出〕	5億7,941万円
◎下水道事業特別会計	
〔歳入〕	6億2,372万円
〔歳出〕	6億2,372万円
◎水道事業会計	
〔収益的収入〕	3億7,782万円
〔収益的支出〕	3億7,486万円
〔資本的収入〕	1億6,720万円
〔資本的支出〕	3億7,465万円

村民税・固定資産税の負担状況(22.3末)

☆1人あたり	村民税	4万367円
	固定資産税	57万546円
☆1世帯あたり	村民税	10万9,664円
	固定資産税	155万円



歳入 90億6,055万円